

「東京医科歯科大学献体の会」会員ならびにご関係の皆さまへ

臨床解剖学分野では、以下の研究を行っております。皆様のご理解とご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

研究課題名：頭頸部領域における組織に関する解剖研究

東京医科歯科大学医学部倫理委員会承認番号：第 M2018-179 番

データ収集期間：医学部倫理審査委員会承認後から平成 32 年 3 月 31 日まで

研究目的：

下咽頭と食道の解剖学的境界は、輪状軟骨下縁レベルとされています。一方、下咽頭と食道との組織学的な差異の特徴は粘膜筋板の有無です。教科書的には粘膜筋板は輪状軟骨付近から始まるとされ、食道の粘膜筋板は頸部食道ではまばらで、胸部食道になると連続した層になると報告されていますが、消化管前壁と消化管後壁とのいずれにおいて粘膜筋板が口側まで存在するか等、輪状軟骨付近における粘膜筋板の詳細な分布は明らかにされていません。近年、下咽頭癌も内視鏡的に切除されるようになり、下咽頭から食道にまたがる病変も内視鏡的に切除できるようになってきました。その際に粘膜筋板は下咽頭と食道との境界付近での正確な解剖学知識が必要となっています。

また、舌癌において、舌リンパ節についての詳細な研究は未だあまりありません。しかし、舌リンパ節転移の存在部位次第で、どういった手術法で治療を進めるかは大きく異なります。

解剖実習体を用いて、頭頸部リンパ節や、下咽頭、食道の境界付近での粘膜筋板の構造について詳細な情報を得ることです。

研究の対象：

本研究で用いる解剖体は、すべて生前に「東京医科歯科大学献体の会」に入会された方の

ご遺体です。その尊いご遺志に深く感謝するとともに、医学、歯学の教育ならびに研究に用いるという献体法（医学及び歯学の教育のために献体に関する法律）ならびに死体解剖保存法の精神を遵守して行って参ります。また、研究の実施に当たっては、日本解剖学会が定めた「解剖体を用いた研究についての考え方と実施に関するガイドライン」に従って行います。

研究の内容：

本学臨床解剖学講座にて保存されている解剖体を用いて、頸部から縦隔の切片ブロックを作成し、顕微鏡にて観察を行います。特に下咽頭から食道にかけての粘膜筋板の分布と、舌リンパ節周囲について詳細な検討を行います。染色方法としては HE 染色に加え EVG 染色、Masson 染色を行い、詳細に観察・記録します。この研究によって、解剖学的な見地に基づいた裏付けがなされることによって、下咽頭食道境界部における粘膜筋板の分布ならびに舌リンパ節を詳細に検討することができると考えています。

この研究により一定の成果がえられた場合には、その結果を学会や論文で発表しますが、写真閲覧時に匿名化を行い、解剖体の個人を特定できる情報は使用いたしません。登録解剖体の同定や照会は、登録時に発行される登録番号を用いて行います。登録にあたっては、識別番号を設定し、連結可能匿名化を行います。参照した画像等は、匿名化の後、臨床解剖学医局にて 10 年間厳重に保管し、研究終了後に適切に扱わせていただきます。

本研究は大学の運営費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従い、医学部臨床研究利益相反委員会に申告を行って承認されています。またデータを二次的に利用する場合は新たな研究計画を立案し医学部倫理審査委員会で承認された後、改めてウェブサイト上でお知らせいたします。

なお、本研究に関してお問い合わせのある場合、下記宛先までご連絡ください。また、研究の途中であっても、解剖体の使用あるいは得られたデータの使用をお断りになる場合には直ちに本研究の対象から除外します。その場合にも故人および関係者の皆様の不利益となることは一切ありませんので、ご遠慮なくお申し出ください。

研究責任者：東京医科歯科大学大学院 運動器機能形態学講座 二村照元

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

電話：03-5803-5390（対応可能時間帯 平日 9:00～17:00）

苦情・相談窓口：

東京医科歯科大学医学部総務掛

電話：03-5803-5096（対応可能時間帯 平日 9:00～17:00）